

Sun Blade™ 6000 モジュラーシステム ご使用の手引き

本書は、Sun Blade™ 6000 モジュラーシステムの設定についての基本的な情報を説明しています。インストールについての詳細は、『Sun Blade 6000 モジュラーシステム設置ガイド』(820-2068)を参照してください。

サイト要件、安全、ドキュメント

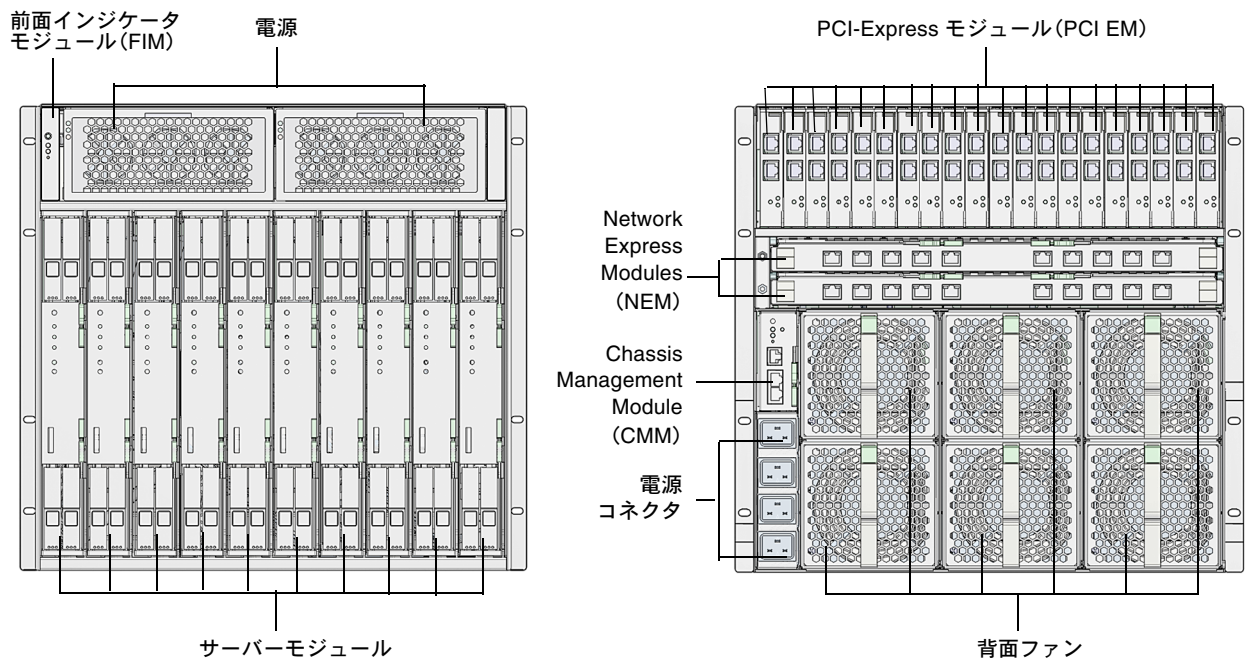
Sun Blade 6000 モジュラーシステムを設置する前に、『Sun Blade 6000 サイト計画の手引』(820-2078)と『Sun システムの重要な安全情報』(816-7190)で、重要なサイト計画と安全情報を参照してください。

その他の Sun Blade 6000 モジュラーシステムのドキュメントは、次の Web サイトで入手できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Servers/blade_servers/blade_6000/index.html

システムの概要

次の図に、Sun Blade 6000 モジュラーシステムの前面パネルと背面パネルを示します。



モジュラーシステムの開梱

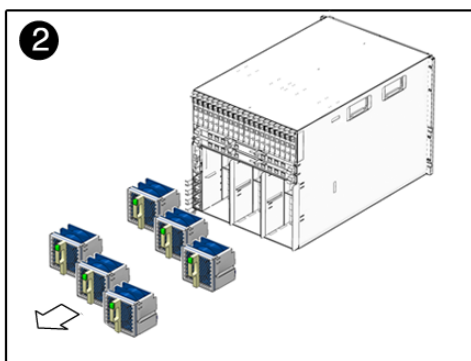
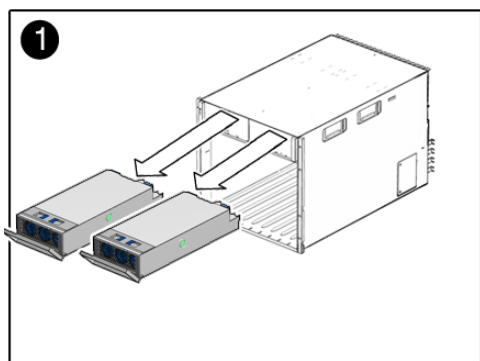
次のアイテムを開梱します。

- Sun Blade 6000 シャーシ
- ドキュメントキット：次のドキュメントを含む
 - 『Where to Find Sun Blade 6000 Modular System (Sun Blade 6000 モジュラーシステムの入手方法)』 (820-2068)
 - 『Sun Blade 6000 モジュラーシステムご使用の手引き』 (820-2083)
- オプションのドキュメント：『Sun Blade 6000 モジュラーシステム設置ガイド』 (820-2068)
- カントリーキット：電源コード 4 本入り
- ラックマウント用キット：ラックレールと設置説明書を含む
- その他の PCI EM と NEM のサーバーモジュールをシステムに設置する
- ドングルキット：I/O ドングルおよびブレードの接続用 DB-9/RJ-45 アダプタを含む

ラックへのモジュラーシステムのマウント

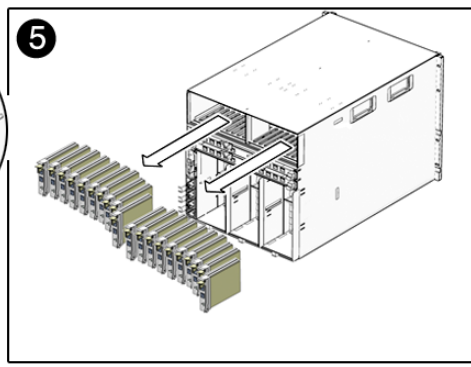
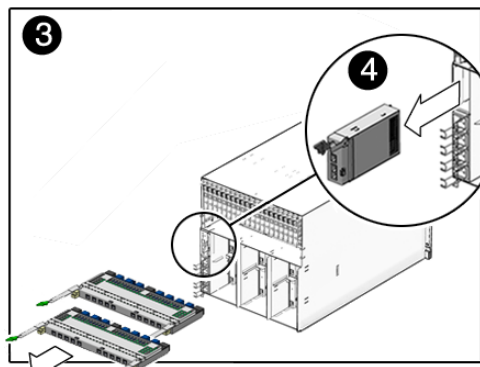
Sun Blade 6000 モジュラーシステムのラックマウント用キットには、ラックにサーバーをマウントする手順についての指示書が付属しています。レールの設置後、サーバーを持ち上げてラックにマウントする方法には、次の 2 つがあります。

- 機械式リフトを使用：ラックにマウントする前にシャーシ内のモジュールを取り外す必要はありません。
- 手動：少なくとも 2 人で作業します。次の図に従ってシャーシを持ち上げ、電源 (1)、ファン (2)、NEM (3)、CMM (4)、および PCI EM (5) の各モジュールを取り外します。



注：モジュールをシャーシから外すときに、必ず手でモジュールを持って重量を支えてください。特に電源モジュールを取り外すときに注意してください。

モジュールのハンドルだけを持ってモジュールを引っ張り出さないでください。



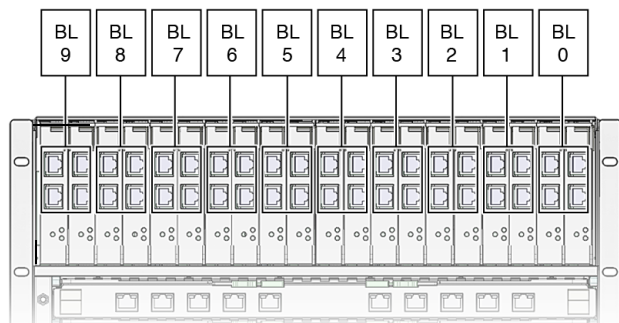
モジュールの取り外しと再設置の詳細は、シャーシに付属のサービスカードまたは『Sun Blade 6000 モジュラーシステム設置ガイド』を参照してください。

モジュラーシステムのケーブル配線と電源投入

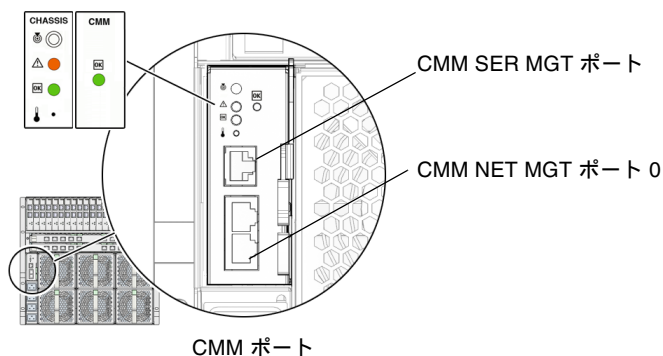
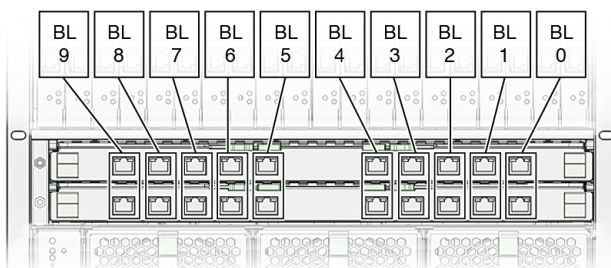
システムをラックにマウントし、設置されたオプションや追加のサーバーモジュールを再設置した後、Sun Blade 6000 モジュラーシステムの入出力 (I/O) ポートにケーブルを接続します。

Sun Blade 6000 モジュラーシステムの NEM、PCI EM、CMM、AC 電源インタフェースの各モジュール、およびドングルケーブル経由で接続される各サーバーモジュールには、それぞれ外部 I/O ポートが用意されています。次の図に、Sun Blade 6000 シャーシの I/O ポートを示します。

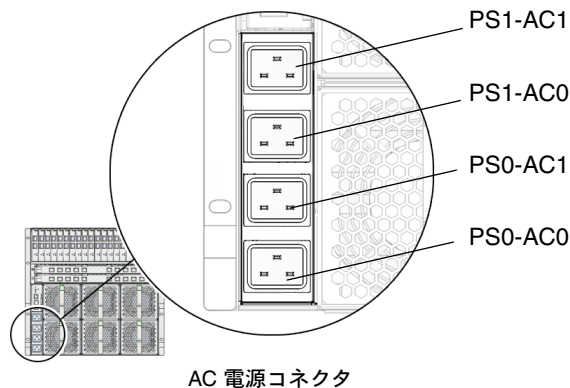
PCI EM とサーバーモジュールとの対応



NEM とサーバーモジュールとの対応



CMM ポート



AC 電源コネクタ

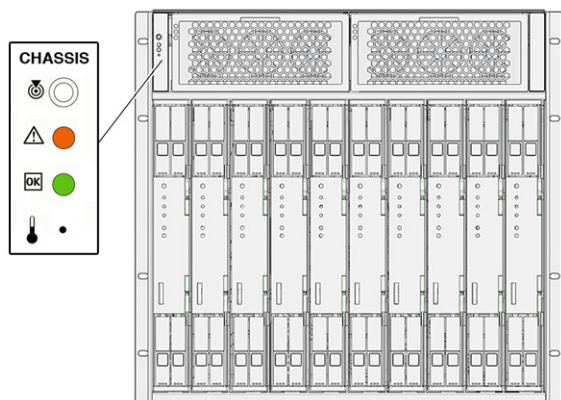
▼ システムの背面にケーブルを接続するには

1. CMM をケーブルで接続します。
 - a. Ethernet ネットワーク管理ケーブルを CMM の RJ-45 NET MGT 0 ポートに接続し、もう一方の端をローカルエリアネットワークに接続します。
 - b. CMM の背面パネルにある RJ-45 SER MGT ポートにシリアルコンソールケーブルを接続します。
シリアルケーブルを NET MGT ポートに接続しないでください。
2. 設置した各 NEM で、データネットワークケーブルを適切な RJ-45 Ethernet スロットに接続し、もう一方の端をローカルエリアネットワークに接続します。
3. 設置した各 PCI EM で、データネットワークケーブルを適切なデータスロットに接続し、データネットワークケーブルのもう一方の端をローカルエリアネットワークに接続します。
4. 必要に応じて、その他のケーブルをサーバーモジュールに接続します。詳細については、サーバーモジュールのドキュメントを参照してください。

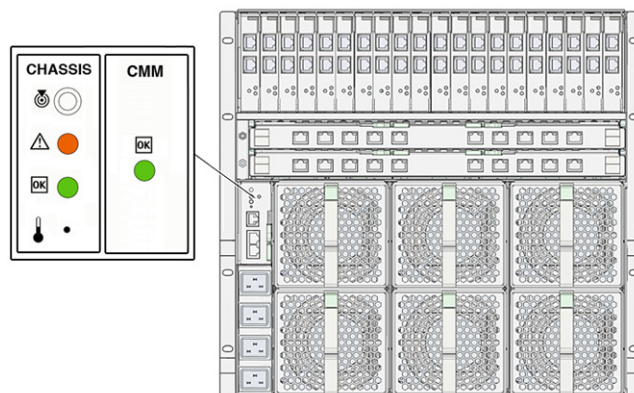
5. 4本の電源ケーブルを4つのAC電源コネクタに接続し、それぞれのケーブルのもう一方の端を配電盤（PDU）に接続します。

主電源がシステムのシャーシに自動的に供給され、シャーシに電流が流れるとすぐにすべてのモジュールとサーバーモジュールに電力が供給されます。

OK 電源 LED が緑に点灯します。OK 電源 LED は、前面シャーシと背面シャーシにあります。



前面シャーシ LED



背面シャーシ LED

CMM ILOM の初期 IP アドレスの設定

Integrated Lights Out Manager (ILOM) の使用方法の詳細は、『Integrated Lights Out Manager (ILOM) Administration Guide for Sun Blade 6000 Modular System (Sun Blade 6000 モジュラーシステム用 Integrated Lights-Out Manager (ILOM) 管理ガイド)』(820-0052) を参照してください。

初期ネットワーク設定情報を使用して CMM とサーバーモジュールをセットアップするには、ILOM システム管理ツール経由で CMM への接続を確立する必要があります。CMM に IP アドレスを割り当てるまでは、まずシリアル接続を使用して CMM と通信します。

CMM へのシリアル接続を確立すると、静的 IP アドレスまたは DHCP IP アドレスを使用して CMM を設定できるようになります。DHCP を通じて IP アドレスを取得した後、または静的 IP アドレスを割り当てた後、リモートネットワーククライアントから Ethernet 接続で ILOM を介して CMM およびサーバーモジュールと通信できます。

IP アドレスを割り当てる前に、次の設置作業を完了するようにしてください。

- Sun Blade 6000 モジュラーシステムの梱包を解き、ハードウェアとケーブル配線の設定を完了します。
「システムの背面にケーブルを接続するには」(3 ページ) を参照してください。
- 次のシリアル設定を行います。
 - 8N1：データビット 8、パリティなし、ストップビット 1
 - 9600 ボー
 - ハードウェアのフローコントロール無効 (CTS/RTS)
 - ソフトウェアのフローコントロール無効 (XON/XOFF)
- 主電源がシャーシとサーバーモジュールに適用されていることを確認します。
- DHCP IP アドレスを割り当てる場合は、Sun Blade 6000 モジュラーシステムと同じローカルネットワーク上に、DHCP サーバーを確立している必要があります。DHCP サーバーのセットアップについてはこのガイドの範囲外です。DHCP サーバーソフトウェアに付属のドキュメントを参照してください。

▼ DHCP を使用した初期 IP アドレスの割り当て

DHCP を使用して IP アドレスを割り当てるには、次の手順に従います。

1. DHCP サーバーが新しいメディアアクセス制御 (MAC) アドレスを受け入れるよう設定されていることを確認します。DHCP サーバーソフトウェアに付属のドキュメントを参照してください。
2. Ethernet ケーブルが、CMM の NET MGT ポート 0 に接続されていることを確認します。
 - すでに静的 IP アドレスが設定されていない限り、ILOM は CMM の MAC アドレス ID とサーバーモジュールの MAC アドレス ID を使用して DHCPDISCOVER パケットを自動的にブロードキャストします。
 - ネットワーク上の DHCP サーバーは、IP アドレスなどの情報を含む DHCP OFFER パケットを返します。CMM は、DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスの「リース」状況を管理します。
3. CMM とのシリアル接続が稼働していることを確認します。
4. デフォルトのユーザー名 `root` とデフォルトのパスワード `changeme` を使用して、管理者として ILOM にログインします。
デフォルトのプロンプト (`->`) が表示され、システムで CLI コマンドを実行できるようになります。
5. CMM ILOM に割り当てられた DHCP IP アドレスを取得するには、次の手順に従います。
 - 作業用ディレクトリを CMM に設定するには、次のように入力します。
`cd /CH/network`
 - アクティブな CMM IP アドレスを表示するには、次のように入力します。
`show`

▼ シリアル接続による CMM への静的 IP アドレスの割り当て

シリアル接続によって CMM に静的 IP アドレスを割り当てるには、次の手順に従います。

1. CMM とのシリアル接続が稼働していることを確認します。
2. デフォルトのユーザー名 `root` とパスワード `changeme` を使用して、管理者として ILOM にログインします。
デフォルトのプロンプト (`->`) が表示され、システムで CLI コマンドを実行できるようになります。
3. CLI を使用して CMM ILOM 上に静的 IP アドレスを設定するには、次のコマンドを入力して作業用ディレクトリを設定します。
`cd /CH/network/`
4. 次のコマンドを使用して、CMM ILOM の IP、ネットマスク、およびゲートウェイのアドレスを指定します。
`set pendingipaddress=静的IP アドレス`
`set pendingipnetmask=静的ネットマスクアドレス`
`set pendingipgateway=静的ネットマスクアドレス`
`set pendingipdiscovery=static`
`set commitpending=true`
5. ILOM からログアウトします。次のように入力します。
`exit`

サーバーモジュールの設定

Sun Blade 6000 モジュラーシステムにインストールされたサーバーモジュールに、DHCP IP アドレスまたは静的 IP アドレスを割り当てる手順については、該当するサーバーモジュールのドキュメントを参照してください。

プリインストールされた Solaris™ オペレーティングシステムの設定方法またはサポートされている別のオペレーティングシステムのインストール方法については、サーバーモジュールに付属のドキュメントを参照してください。

Sun ドキュメントと連絡先情報

■ Sun ドキュメントへのアクセス

翻訳バージョンも含めたさまざまな Sun ドキュメントを、次のサイトで表示、印刷、購入できます。

<http://www.sun.com/documentation>

■ Sun テクニカルサポートの連絡先

この製品について技術的な質問があり本書で回答されていない場合は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

■ ドキュメントについてのコメント

Sun 社は、ドキュメントの改善を常に心がけており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。コメントは次のサイトを通してお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

フィードバックには、本書のタイトルと部品番号を記載してください。

『Sun Blade 6000 モジュラーシステムご使用の手引き』、部品番号 820-2083-10

Copyright 2007 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Use is subject to license terms. 本製品に含まれるサードパーティーソフトウェア（フォントに関するテクノロジーを含む）は、著作権を有する当該各社より米国 Sun Microsystems 社へライセンス供与されているものです。本製品の一部は、Berkeley BSD systems に由来し、University of California からライセンスを受けています。Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、Java, Sun Blade, Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC の商標はすべて、ライセンス契約に基づいて使用されており、SPARC International, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。米国政府の権利 - 商用。政府関連のユーザーは、米国 Sun Microsystems 社の標準ライセンス契約、および FAR とその補足条項に従う必要があります。

Copyright 2007 Sun Microsystems, Inc. Tous droits réservés. Distribué par des licences qui en restreignent l'utilisation. Tout logiciel tiers, sa technologie relative aux polices de caractères comprise, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun. Des parties de ce produit peuvent dériver des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, Java, Sun Blade, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux États-Unis et dans d'autres pays. Toutes les marques SPARC sont utilisées sous licence et sont des marques de fabrique ou des marques déposées de SPARC International, Inc. aux États-Unis et dans d'autres pays.



Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com